

# はんの梢

学校教育目標  
ゆたかな心 たくましい力  
R5 重点目標  
みがく～どんどんやってみよう～

学校だより 10月号

大井川東小学校

R5. 10. 13



検索【大井川東小学校】

## 心に響くことば

「ミステリと言う勿れ」という作品をご存知でしょうか。この頃、テレビドラマ化されたり、映画化されたりしている作品です。先日、たまたま目にしたニュース番組で、映画化されたこの作品について報道されていました。その時、インタビューを受けた人々は、主人公の整くんの言葉が心に響くと言っていました。その例として出されたセリフは次のような内容でした。



自分の絵に対し自信を失った女性が「絵が下手で才能がないと思って描くのをやめた」という話をすると、整くんは、「目が肥えてきたから下手だとわかる。本当に下手な人は自分が下手なことに気づかない。だから下手だと思ったときこそ伸びどきなんだ。」ということを返したそうです。「そんなことはない。あなたの絵は下手ではない。」とつい言ってしまいそうですが、整くんは、相手の「下手だ」という思いは否定せず、下手と感じる理由を「そうか」と納得してしまう理屈で語ったことで、その言葉が心に響いたのだと思います。

似たようなことが、先日行われた3年生の交通安全教室でもありました。交通指導員の方が話されている中に、「自転車に乗ることが不安だと思っている人は、安心します。だって、不安だと思っているから、それだけ運転に慎重になるから、安全に乗れるということです。」と。「不安な時は乗らない方がよいね。」とか、「大丈夫、安全に乗れるよ。」など、何の説得力のない言葉をかけてしまいがちですが、交通指導員の方は、「不安だと思う」ことは否定せず、不安な状態から得られるプラス思考の言葉を返しました。きっと、不安だと思っていた子供たちは、この言葉は心に響いたと思います。

両者に共通していたのは、その人の思いを否定しないこと、そして、誰もが納得する理由を伝えていることです。相手から心に響くことばを浴び、時に相手に心に響くことばを浴びさせていくことで、イライラしたり、自分勝手になったりせず、互いにわかり合い、安心した時間を過ごすことができるのではないか。ほんの少し意識するだけで、相手の心に響く言葉を発することができるようになると思います。みんなで少しづつ、心に響くことばを意識してみませんか。



## 4年生青少年の家宿泊体験教室

9月27、28日の1泊2日で4年生が宿泊体験教室を行ってきました。自分たちで計画し、考え、実践した2日間で、とてもたくましく成長しました。



# 前期終了・後期スタート



## 前期終了学年集会



10月6日(金)、前期終了学年集会が行われました。前期に頑張ったことをみんなの前で発表したり、子供が集会を計画し、運営したりしていました。どの学年も子供の頑張りがあふれる集会となっていました。この半年の成長を大きく感じた時間でした。

## 後期始業式

10月10日(火)後期始業式を行いました。「かがやきのステージ」の始まりでもあるため、原石を磨いてダイヤmondになるように、自分の持っている原石を磨いて、輝いていきましょうという話がありました。また、すでに輝いているしづはまっ子を紹介する中に、6年生のかがやきとして、合唱の披露がありました。広い体育館に6年生の歌声が響き、みんなの心が輝いた瞬間でした。



2年不審者対応訓練



1年不審者対応訓練



3年交通安全教室



5年社会科見学自動車工場